

【投信調査室コラム】

日本版ISAの道 その14

カナダ版ISA「TFSA」を見ていると、日本版ISA(NISA/ニーサ)が2014年に5~600万人、4~5兆円となる可能性は十分あると言えそう~日英加の少額投資非課税制度比較~。

※国際投信投資顧問 投信調査室がお届けする、日本版ISAに関する情報を発信するコラムです。




日英加の少額投資非課税制度比較

日本版ISA(少額投資非課税制度、愛称「NISA/ニーサ」)に注目が集まる中、その参考とされているのは、名前の通り、英国の「ISA/Individual Savings Account(個人貯蓄口座)」である(*英国ISAについては「日本版ISAの道 その13」を参照~URLは後述する参考ホームページ欄にあり)。

ただ、英国のISAは、ISAとして15年の歴史、前身のPEPsを入れると四半世紀の歴史を持つ(下記テーブル参照)。歴史があるから範とする意味はあるが、目先の日本版ISA(NISA/ニーサ)を考えるにはふさわしくないかもしれない。その意味、まだ4年数カ月の歴史しかないカナダの例が日本には参考となるかもしれない。カナダのISAは「TFSA/Tax-Free Savings Account(非課税貯蓄口座)」である。上限が年5500加ドル(約50万円)と、英国ISAの3分の1以下、日本版ISA(NISA/ニーサ)の半分近くしかない。しかし、英国ISAと遜色は無いだけでなく、未使用分の無制限繰越や夫婦間での共有など、その後の拡大可能性、メリットは大きい。ちなみに日本版ISAは「ニーサ」、英国(版)ISAは「アイサ」と呼ばれるが、カナダ版ISAは「ティフサ(Tiff-Suhh)」や「タフサ(TaFSA)」など統一されていない。

日英加の少額投資非課税制度/個人貯蓄口座/非課税貯蓄口座比較

2013年6月3日現在
国際投信投資顧問株式会社投信調査室作成

項目	 日本版ISA (少額投資非課税制度、 愛称「NISA/ニーサ」)	 英国のISA /Individual Savings Account (個人貯蓄口座)	 カナダのTFSA /Tax-Free Savings Account (非課税貯蓄口座)
制度を利用可能な者	20歳以上の居住者等	株式型…18歳以上の居住者等、預金型…16歳以上の居住者等 *18歳未満にはジュニアISAあり、18歳になると、自動的に(アダルト)ISAになる	18歳以上の居住者等
非課税対象	上場株式等・公募株式投信の配当・譲渡益 *預金は不可だが2016年1月1日から公社債(投信)も対象となる可能性(金融庁要望)。	株式型…株式・投信・残存5年以上の債券、預金型…預金・MMF等向こう5年間にわたりいつも元本の値下がりが5%以下のもの	投信、GIC/利率保証型積立生命保険、債券等
非課税投資額	毎年、新規投資額で100万円を上限(ロールオーバーも可能) *累積非課税投資額上限500万円	11,520ポンド(約175万円)を上限(預金型については年5,760ポンドを上限) *2013年4月6日~2014年4月5日、累積非課税投資額上限無し	5500加ドル(約50万円)~2013年1月1日から(2012年までは5000加ドル) *インフレ率により500ドル単位で増加する場合あり、累積非課税投資額上限無し
投資可能期間	10年間(2014年~2023年)	恒久化 *当初10年間(1999年~2009年)、2008年に恒久化	恒久化
非課税期間	投資した年から最長5年間	無制限	無制限
途中売却	自由(ただし、売却部分の枠は再利用不可) *未使用分は翌年以降に繰り越すことが不可、分配金再投資は新規投資と見なされる	自由(ただし、売却部分の枠は再利用不可) *ファンドや金融機関のスイッチングや移管は可、未使用分は翌年以降に繰り越すことが不可、分配金再投資は新規投資と見なされない	自由(ただし、 売却部分の枠はその年だけ再利用不可で翌年以降追加可) *未使用分は 翌年以降無制限に繰り越すことが可 、分配金再投資は新規投資と見なされない
損益通算	特定口座等で生じた配当・譲渡益との損益通算は不可	ISA以外で生じた配当・譲渡益との損益通算は不可	TFSA以外で生じた配当・譲渡益との損益通算は不可
口座開設数	一人一口座	株式型と預金型に各一人一口座(株式型と預金型は別の金融機関で可) *翌年以降変更可	一人複数口座可(合計は上限以内)
導入時期	2014年1月(20%本則税率化にあわせて導入)	1987年の個人持株制度(PEPs)と1991年の免税特別貯蓄口座(TESSAs)を前身に1999年(4月6日)から株式型と預金型と保険型で始まった *保険型は2005年に株式型へ統合	2009年1月

(出所: 日本の金融庁、英国歳入税関庁、カナダ歳入庁・カナダ財務消費者局より国際投信投資顧問株式会社投信調査室が作成)

[参考ホームページ]

金融庁の「金融証券税制等について」…「<http://www.fsa.go.jp/policy/shokenzeisei/>」、英国歳入税関庁/HM Revenue & Customs/HMRC…「<http://www.hmrc.gov.uk/>」、カナダ歳入庁/Canada Revenue Agency/CRA…「<http://www.cra-arc.gc.ca/>」、カナダ財務消費者局/Financial Consumer Agency of Canada/FCAC…「<http://www.fcac-acfc.gc.ca/>」、2013年5月27日付日本版ISAの道 その13「ISA 本家・英国のISA ファンド 17兆円がリスクオン。英国高配当株が特に人気。」…「<http://www.kokusai-am.co.jp/news/jisa/pdf/130527.pdf>」。

カナダ版ISA「TFSA」を見ていると、日本版ISA(NISA/ニーサ)が2014年に5~600万人、4~5兆円となる可能性は十分あると言えそう

カナダ版ISA「TFSA」は2009年1月に導入されてから順調に人気を集めた。カナダ財務省によると、TFSA口座の開設者数(重複開設数を除く)は、2009年末490万人(納税者の19%)、2010年末670万人(同26%)、2011年末820万人(同31%)。カナダの人口は約3200万人なので人口の3割弱が口座を開いていることとなる(*参考までに英国ISAの口座開設者は2300万人で人口は6300万人なので4割弱の人が口座を開いている)。同様にカナダ財務省によると、TFSA口座の残高(時価)は、2009年末182億加^{ドル}(約1兆6000億円)、2010年末407億加^{ドル}(約3兆円)、2011年末620億加^{ドル}(約5兆円)となっている。

カナダの先例がそのまま日本でもあてはまるとすれば、日本の人口はカナダの約4倍、日本版ISAの年間上限はカナダの約2倍あることなどからして、2013年2月10日付産経新聞朝刊が報じていた「日本版ISA 『初年度500万人利用』」、2013年5月6日付日本経済新聞朝刊が報じていた「632万人は初年度に専用口座を開き、総額4兆円を投資する」は十分達成出来そうである。そして、日本版ISAの2020年までの目標25兆円(「日本再生戦略」)も極めて現実的に思えてくるだろう。



[参考ホームページ]

「日本再生戦略」…「http://www.cas.go.jp/jp/tpp/pdf/2/10.20120918_5.pdf」、カナダ財務省/Department of Finance Canada…「<http://www.fin.gc.ca/fin-eng.asp>」、2013年2月10日付産経新聞朝刊の「日本版ISA 『初年度500万人利用』」…「<http://sankei.jp.msn.com/economy/news/130209/fnc13020922000003-n1.htm>」、2013年5月27日付日本版ISAの道 その13「ISA 本家・英国のISA ファンド 17兆円がリスクオン。英国高配当株が特に人気。」…「<http://www.kokusai-am.co.jp/news/jisa/pdf/130527.pdf>」。

カナダ版ISA「TFSA」vs カナダ版401k「RRSP」

こうなると、カナダ版ISA「TFSA」で、どの様な投信が利用されているかを知りたいところ。しかし先述通り、TFSAは2009年1月に開始されたばかりで、歴史が浅く、そこまでのデータがほとんど見つからない。カナダの投信協会(IFIC/Investment Funds Institute of Canada)でもデータが見つからない。世界最大級の投信評価機関であるモーニングスターのデータベースでも見つからない。そこで、データのあるもの、カナダで1957年に開始されたカナダ版401kこと、「RRSP/Registered Retirement Savings Plan(税制適格退職貯蓄制度)」を見る。

カナダ版ISA「TFSA」とカナダ版401k「RRSP」については、「TFSA vs RRSP」とか「TFSA or RRSP?」とか言う感じで、どちらを選択するかの意見などが頻りにカナダでは見られる。非課税枠はTFSAと同様、インフレ次第で増額される仕組みを持ち、2013年は年23820加^{ドル}(約200万円)と、「TFSA」の年5500加^{ドル}(約50万円)の4倍強となっている。「TFSA」も「RRSP」も、運用益非課税は同じだが、カナダ版ISA「TFSA」が「税控除無し、給付時非課税」(*米国のRoth IRAに似る)であるのに対し、カナダ版401k「RRSP」が「税控除有り、給付時課税」(*米国のTraditional IRA及び401kに似る)となっている所が違う。尚、カナダ版401k「RRSP」と似た名前の税制優遇制度として、カナダには「RESPs/Registered Education Savings Plans(税制適格教育貯蓄プラン)」もあるが、これは米国の529プラン(高等教育資金積立制度)もしくは英国の「チャイルド・トラスト・ファンド」/「ジュニアISA」に似た教育資金向け制度である(*529プランやジュニアISAについては「日本版ISAの道 その4」参照~URLは後述の参考ホームページ欄にあり)。

[参考ホームページ]

カナダ財務消費者局/Financial Consumer Agency of Canada/FCAC…「<http://www.cra-arc.gc.ca/>」、2013年2月22日付日本版ISAの道 その4『日本版ISAの道』は、近い将来『日本版529と日本版ジュニアISAの道』につながり、さらに拡大していく可能性を持つ。『家計からの成長マネーの供給拡大』が達成されていくことを強く期待する。』…「<http://www.kokusai-am.co.jp/news/jisa/pdf/130222.pdf>」。

カナダ版 401k「RRSP(RESP)」の投信

まずはカナダの投信全体、カナダ籍オープンエンドファンドの純資産上位20を見る。実はその多くがRRSP(RESP) 適格ファンドで、さらにその多くがアセットアロケーション・ファンドである。ただ、注意したいのはアセットアロケーション・ファンドと言っても、株式や債券を柔軟に動かすファンドが多いという訳ではないことだ。株式や債券を柔軟に動かすファンドは「アセットアロケーション柔軟型」と言うが、純資産で見ると全体の1%となっている(詳細は後述)。カナダで多いアセットアロケーション・ファンドとは、日本で言う所の「バランス型」で、「アセットアロケーション積極型」については「株式型」と言っても良さそうだ。例えば2013年4月末の純資産が1兆4233億円あり、純資産第1位の「Investors Dividend A」は、2013年2月末現在、カナダ株式8割(*高配当の大型バリュー株)、カナダ債1割に投資しているのである(*TFSA・RRSP・RESP等適格で、2003年7月28日に設定された償還手数料5.5%、解約手数料2.0%、信託報酬1.7%のファンド)。

カナダ籍オープンエンドファンドの純資産上位20
*RRSP(RESP)適格ファンド以外にも含む。

2013年4月末現在



順位	ファンド名	大分類	グローバル分類 (モーニングスター分類)	RRSP / RESP		投信会社名	設定日	純資産 (百万円)	
				RRSP	RESP				
1	Investors Dividend A	アロケーション	アセットアロケーション積極型	Yes	Yes	Investors Group Inc	2003/7/28	1,423,315	
2	RBC Select Conservative Portfolio Sr A	アロケーション	アセットアロケーション標準型	Yes	Yes	RBC Global Asset Management Inc.	1986/12/11	1,077,494	
3	RBC Canadian Dividend Sr A	株式	カナダ大型株	Yes	Yes	RBC Global Asset Management Inc.	1993/1/6	959,414	
4	RBC Select Balanced Portfolio Sr A	アロケーション	アセットアロケーション標準型	Yes	Yes	RBC Global Asset Management Inc.	1986/12/11	859,180	
5	RBC Monthly Income Sr A	アロケーション	アセットアロケーション標準型	No	No	RBC Global Asset Management Inc.	1997/8/18	783,549	
6	RBC Balanced Sr A	アロケーション	アセットアロケーション標準型	Yes	Yes	RBC Global Asset Management Inc.	1987/12/31	647,383	
7	RBC Select Very Conservative Port Sr A	アロケーション	アセットアロケーション慎重型	Yes	Yes	RBC Global Asset Management Inc.	2009/3/9	507,647	
8	TD Monthly Income - I	アロケーション	アセットアロケーション積極型	Yes	Yes	TD Mutual Funds	1998/6/29	507,512	
9	Investors Income Plus Portfolio A	アロケーション	アセットアロケーション慎重型	Yes	Yes	Investors Group Inc	2003/7/28	481,657	
10	BMO SelectClass Security Portfolio	アロケーション	アセットアロケーション慎重型	Yes	Yes	BMO Investments Inc.	2008/11/17	450,916	
11	Fidelity Monthly Income Series B	アロケーション	アセットアロケーション標準型	Yes	Yes	Fidelity Investments Canada ULC	2003/11/6	429,324	
12	Dynamic Strategic Yield Sr A	アロケーション	アセットアロケーション標準型	Yes	Yes	Dynamic Funds	2009/2/27	425,589	
13	Investors Mortgage & Short Term Income	中長期債	カナダ債	Yes	Yes	Investors Group Inc	1973/8/3	424,186	
14	Investors Real Property A	オルタナティブ	その他オルタナティブ	Yes	No	Investors Group Inc	2003/7/28	422,213	
15	RBC Managed Payout Solution Sr A	アロケーション	アセットアロケーション慎重型	Yes	Yes	RBC Global Asset Management Inc.	2004/8/23	356,225	
16	TD Mgd Income Portfolio I	アロケーション	アセットアロケーション慎重型	Yes	Yes	TD Mutual Funds	1998/11/12	336,268	
17	RBC Select Growth Portfolio Sr A	アロケーション	アセットアロケーション積極型	Yes	Yes	RBC Global Asset Management Inc.	1986/12/11	334,341	
18	BMO Monthly Income	アロケーション	アセットアロケーション標準型	No	No	BMO Investments Inc.	1999/3/22	330,113	
19	BMO Dividend	株式	カナダ大型株	Yes	Yes	BMO Investments Inc.	1994/10/3	320,502	
20	Fidelity Canadian Asset Alloc Sr B	アロケーション	アセットアロケーション積極型	Yes	Yes	Fidelity Investments Canada ULC	1994/12/30	312,886	
11502本 *純資産は合計、その他は単純平均。								2007/2/3	61,802,718

(出所: ibbotsonより国際投信投資顧問株式会社投信調査室が作成)

次いでカナダ籍オープンエンドファンドの分類別・純資産ランキングを見る。次頁テーブルの通り、大分類でも株式と債券に投資するアロケーション・ファンドが最大で、47%を占めている。さらに詳細に見るべくグローバル分類(モーニングスター分類)を見ると、「アセットアロケーション標準型」が最大で、22%を占めている。

上記テーブルで純資産第2位の「RBC Select Conservative Portfolio Sr A」が「アセットアロケーション標準型」だが、2013年2月末現在、内外株式4割、内外債5割に投資しているバランス型ファンドである。

カナダ籍オープンエンドファンドの分類別・純資産ランキング
*RRSP(RESP)適格ファンド以外も含む。

2013年 4月末現在

順位	大分類 (モーニングスター 分類)	本数	純資産 (百万円)		順位	グローバル分類 (モーニングスター 分類)	本数	純資産 (百万円)	
			比率 (%)					比率 (%)	
1	アロケーション	3,740	29,274,237	47.37	1	アセットアロケーション標準型	1,061	13,509,150	21.86
2	株式	5,794	20,017,115	32.39	2	カナダ大型株	1,116	10,074,797	16.30
3	中長期債	1,365	9,652,835	15.62	3	アセットアロケーション積極型	756	8,105,879	13.12
4	マネーマーケット	271	1,769,500	2.86	4	カナダ債	558	6,882,860	11.14
5	オルタナティブ	236	912,329	1.48	5	アセットアロケーション慎重型	476	6,575,649	10.64
6	商品	36	98,796	0.16	6	グローバル株	1,008	3,828,658	6.19
7	その他	60	77,906	0.13	7	米国大型ブレンド株	557	1,993,778	3.23
					8	ハイイールド債	252	1,744,216	2.82
					9	カナダ・マネーマーケット	198	1,573,028	2.55
					10	カナダ中小型株	260	1,171,230	1.90
					11	その他オルタナティブ	182	912,329	1.48
					12	グローバル債	116	788,238	1.28
					13	天然資源関連株	168	600,023	0.97
					14	アセットアロケーション柔軟型	143	561,358	0.91
					15	グローバル中小型株	123	446,575	0.72
					16	エマージング株	99	354,087	0.57
					17	欧州大型株	63	323,474	0.52
					18	ターゲットデート2000-2020	47	296,597	0.48
					19	米国中型株	111	294,833	0.48
					20	貴金属セクター株	39	240,905	0.39
	全7分類計	11,502	61,802,718	100.00		全40分類計	11,502	61,802,718	100.00

(出所: ibbotsonより国際投信投資顧問株式会社投信調査室が作成)

最後に RRSP(RESP)適格ファンドだけで見る。大分類ではやはり株式と債券に投資するアロケーションが最大であり、46%を占めている。グローバル分類(モーニングスター分類)でもやはりアセットアロケーション標準型が最大で、20%を占めている。先の全体のもの、極めて似ているが、これは RRSP 等適格と言うだけで実際に RRSP 等になっているかどうかは不明な為なので仕方はない。その中、全体と比較してわかるのは、大型株やアセットアロケーション積極型の純資産が少しだけが多いことである(下記のテーブルの右端参照)。カナダの株は日米等の株と違って今年に入ってもそれほど堅調でないことから(2008年6月18日の最高値から-15%ほど下の水準~2013年5月29日現在)、値上がりと言うよりも、RRSP での株式志向の強さがあるかもしれない。そしてその株式は海外株も含めて高配当株と言う感じである。このあたりは本家・英国の ISA と似ているところである(*英国 ISA については「日本版 ISA の道 その 13」を参照~URL は後述する参考ホームページ欄にあり)。

カナダ籍オープンエンドファンドのRRSP(RESP)適格ファンドの分類別・純資産ランキング

2013年 4月末現在

順位	大分類 (モーニングスター 分類)	本数	純資産 (百万円)		順位	グローバル分類 (モーニングスター 分類)	本数	純資産 (百万円)		全体比 差 %ポイント
			比率 (%)					比率 (%)		
1	アロケーション	2,204	27,109,944	46.22	1	アセットアロケーション標準型	875	11,688,470	19.93	-1.93
2	株式	3,123	19,650,082	33.51	2	カナダ大型株	894	9,964,720	16.99	+0.69
3	中長期債	826	9,211,055	15.71	3	アセットアロケーション積極型	641	7,968,377	13.59	+0.47
4	マネーマーケット	196	1,713,615	2.92	4	カナダ債	470	6,613,656	11.28	+0.14
5	オルタナティブ	148	821,563	1.40	5	アセットアロケーション慎重型	418	6,375,900	10.87	+0.23
6	商品	18	98,046	0.17	6	グローバル株	835	3,758,889	6.41	+0.21
7	その他	19	43,680	0.07	7	米国大型ブレンド株	472	1,942,346	3.31	+0.09
					8	ハイイールド債	232	1,674,371	2.85	+0.03
					9	カナダ・マネーマーケット	175	1,566,260	2.67	+0.13
					10	カナダ中小型株	223	1,112,382	1.90	+0.00
					11	その他オルタナティブ	148	821,563	1.40	-0.08
					12	グローバル債	98	707,274	1.21	-0.07
					13	天然資源関連株	133	596,574	1.02	+0.05
					14	アセットアロケーション柔軟型	132	556,281	0.95	+0.04
					15	グローバル中小型株	91	442,564	0.75	+0.03
					16	エマージング株	84	344,601	0.59	+0.01
					17	欧州大型株	56	323,275	0.55	+0.03
					18	ターゲットデート2000-2020	44	295,622	0.50	+0.02
					19	米国中型株	91	283,952	0.48	+0.01
					20	貴金属セクター株	36	240,419	0.41	+0.02
	全7分類計	6,534	58,647,985	100.00		全33分類計	6,534	58,647,985	100.00	+0.00

(出所: ibbotsonより国際投信投資顧問株式会社投信調査室が作成)

[参考ホームページ]

2013年5月27日付日本版ISAの道 その13「ISA 本家・英国のISA ファンド 17兆円がリスクオン。英国高配当株が特に人気。」…「 <http://www.kokusai-am.co.jp/news/jisa/pdf/130527.pdf> 」。

以上
(投信調査室 松尾、窪田)

本資料に関してご留意頂きたい事項

本資料は日本版ISA(少額投資非課税制度、愛称「NISA/ニーサ」)に関する考え方や情報提供を目的として、国際投信投資顧問が作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。なお、以下の点にもご留意ください。

- 本資料中のグラフ・数値等はあくまでも過去のデータであり、将来の経済、市況、その他の投資環境に係る動向等を保証するものではありません。
 - 本資料の内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
 - 本資料は信頼できると判断した情報等をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性等を保証するものではありません。
 - 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の国際投信投資顧問 投信調査室の見解です。
- また、国際投信投資顧問が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。